

事務事業名	樋門管理事業(雲南市全域)		所属部	建設部	所属課	建設総務課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち〈定住環境〉		所属G	公共管理G		
	施策名	〈16〉消防・防災対策の推進		担当者名	高橋 健		
	目的・対象	市民	意図	生命・財産を火災・災害から守る。			
	基本事業	〈046〉防災施設の整備		予算科目	0:140:0:2	大事業名	河川施設管理事業
目的・対象	市民	意図	被害にあわない、被害が拡大しない。			中事業名	樋門管理事業
				1:510:0:1	大事業名	樋門管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
①市民 ②管理樋門(受託を含む)	①災害時に河川水位が上がったときに樋門操作をする。 ②通常から適正な維持管理を行う。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(H16 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)	・国管理樋門、県管理樋門について雲南市が受託し、市管理樋門を含めて樋門操作を操作員へ委嘱を行う。 ・豪雨時に備えた維持管理や豪雨時の樋門操作を行う。 ・国管理樋門、県管理樋門については操作実績報告し、委託契約金額を請求する。
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R5年度実績(R5年度に行った主な活動)	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)
・国又は県との樋門管理受託契約 ・樋門操作員等への支払 ・樋門操作団体、樋門操作員との契約、委嘱 ・維持管理経費支出 ・点検結果、操作実績の受付 ・市管理樋門上屋建設 ・国又は県への点検結果、操作実績報告 ・国又は県への契約金額請求	・樋門操作員の作業が安全に出来るよう国や県に防災備品の支給を要望し、一部支給された。 ・令和5年度において、市管理樋門へ上屋を建設し、操作員の安全確保に努めた。

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R3年度(実績)	R4年度(実績)	R5年度(実績)	R6年度(計画)
ア 国管理樋門受託数	樋門	3	3	3	3
イ 県管理樋門受託数	樋門	52	52	52	52
ウ 市管理樋門受託数	樋門	2	2	2	2
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R5年度決算)	② コストの推移	単位	R3年度(決算)	R4年度(決算)	R5年度(決算)	R6年度(計画)
【報酬】4,522千円 【委託費】420千円 【光熱水費】24千円【工事費】14,883千円 【合計】19,849千円 【地方債】合併特例債	国庫支出金	千円	371	336	345	343
	県支出金	千円	5,531	4,466	4,703	5,794
	地方債	千円			14,100	
	その他	千円				
	一般財源	千円	172	351	701	482
	事業費計	千円	6,074	5,153	19,849	6,619

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	令和3年度は、記録的な豪雨に見舞われ各地で甚大な被害が発生したが、樋門操作員の迅速かつ正確な操作により、人的被害もなく被害を最小限にすることができた。
② 事業実施するうえでの課題	樋門管理については、市民を守るために市がすべきことであり、適切である。
③ 課題解決に向けた改革改善等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も樋門操作員等と連携を取りながら適正管理に努める。 ・令和2年度から樋門操作員は会計年度職員として任用する。 ・令和2年4月1日より、規程の一部変更。 ・樋門操作員の高齢化が進んでいるが、後継者がいない為、今後の管理に支障となる。